

記事から分かったこと（事実）を根拠にして、自分の考えたこと・自分ができていることを書きましょう。最後に、自分の伝えたいことに必要な情報はどれか、どんな順番で書くか付箋を動かしながら、整理して選びましょう。



記事から分かったこと（事実）

山形県内で、令和二年一月～十月に夜間に車にはねられて亡くなった歩行者全員が、夜光反射材を付けていなかった。

十五年～十九年で県内で夜間に車両にはねられた人は、千十五人。

例年、日没が早まる十月～十二月に事故が増える傾向。（グラフを活用）

夜間下向きのライトで、ドライバーから歩行者が見える距離は、黒っぽい服で約二十六メートル、明るい色で約三十八メートル、反射材を着用すれば五十七メートル以上離れたところからでも光って見える。

反射材を体のわきにも取り付ける。（県警が勧めている。）

横断歩道に立っていても、止まる車は四台に一台。理由の一つに歩行者に気づくのが直前だったから。

自分の考え（黄色の付箋）・できること（ピンクの付箋）

薄暗い時間や夜間は運転者が歩行者に気づきにくい対策が取られていない。

日が短くなると、さらに気を付けなくてはならない。

夜間の不要不急な外出は、控える。  
夜間外出するときは、明るい服を着て、反射材を付けることでより運転者に気づいてもらえそうだ。

体の脇にも反射材を付ける。  
前後だけにつけるより、全方向から光ることで目立ち、気づいてもらいやすくなる。

歩行者は気づいてもらえるように手をあげたり、運転者は横断歩道には歩行者がいるものと意識したりするなど、お互いに気にかかけあう。

夜だけではなく、日中も歩行者は運転者から気づかれにくい。